

【質問項目】

1. 青少年海外派遣について

1. 青少年海外派遣について

■質問（しもづる）

私からは、二つの事業について簡潔に一つの点でお伺いしたいと思います。

これまでの委員会でも、チャンス、機会は平等に均等という観点からお尋ねさせていただいているわけなんです。具体的には、こちらの一ページの環黄海青少年派遣並びに二ページ一番下の薩摩スチューデント派遣事業、これらは非常にいい事業だと思っております。やはり青少年のうちに国際感覚を養うためには、行くのが一番なんですけれども、なかなか家庭の経済状況によって、どうしてもお金がかかることですから、皆が皆行けるわけじゃない。その中で、家庭の経済状況が厳しい子たちでも、こういう事業を活用することによって、青少年のうちにそういう機会を持つことができる、非常に重要な事業であると思っております。したがってやはり、冒頭申し上げましたけれども、チャンス、機会というのは平等にあるべきだというふうに思っております。

これまでこの委員会での質疑において、せっかくいい事業なのに倍率低いんじゃないかなという疑問を呈させていただきました。すなわち、もっと知ってもらえれば、もっと手を挙げ得るはずなのに、募集自体がなかなか、こういうことをやっていますよということ自体がなかなか行き渡っていないとすると、知っている人は得をして、知らない子供はそのチャンスがないということを私は問題として提起をいたしました。

そこで、具体的な質問としましては、来年度派遣する環黄海並びに薩摩スチューデント派遣について、どのように県内あまねくしっかりと募集をやっていくのか、そして機会の均等というのを図っていくのかということを示していただきたいというふうに思います。

□答弁（青少年男女共同参画課長）

ただいま、環黄海青少年派遣事業の周知につきまして御質問をいただきました。

これまでも、関係機関への通知でありますとかホームページへの掲載、あと報道機関への情報提供等をしておりましてけれども、来年度は、特に対象が若者でございますので、広報課のツイッターであるとかフェイスブック、そのような広報媒体を活用して募集をしたいと思っております。

また、環黄海青少年派遣事業でありますとか、青少年の海外ふれあい事業でありますとか、年度当初に何かリーフレット等をつくりまして、いろいろな経済団体等の会合等で配布するような新たな取り組みもしたいと考えております。

そういうことで、従来に加えまして、そのような SNS、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用でありますとか、各団体へのきめ細やかな情報提供ということで、もちろん中小企業の団体のほうにも情報提供いたしまして、幅広く県内の青少年に周知をして、参加できるような取り組みをしてま

いりたいと考えております。

□答弁（国際交流課長）

お尋ねのあった薩摩スチューデント派遣事業についての広報・周知についてでございます。

既に、予算発表がなされたときに地元紙のほうにも掲載をされまして、それを受けまして、幾つかもう問い合わせも来ているという状況もございます。

ただ、委員がおっしゃられるように、県下全域に全てきちっと周知を図らないといけないということで、ホームページ等へ掲載するのはもちろんですけれども、全戸配布の「県政かわら版」等にも、その事業内容について掲載をさせていただきたいというふうに思っております。また、青少年ということで、関係機関への周知等も行いたいと思っております。

また、この事業につきましては、関係自治体とも連携してということになりますので、関係自治体のほうでもそれぞれ広報をしていただくというふうにしております。

以上です。

■質問（しもづる）

ありがとうございます。

今、団体等への広報の充実ということも答弁ありましたけれども、そちらも当然重要なんですけれども、やはりSNSの活用といったような、主に団体等に属していない一人一人の方にも行き渡るようにしていただきたいなということを要望したいなと思います。

といいますのも、恐らく団体等の方々とは従来、担当課の皆さんも密にとられていらっしゃると思いますし、また、団体等に入っているの方々というのはそういう情報は入ってくると思うんですね。問題は、そこに属していない一人一人の会社もしくは若手経済人の方々が、情報伝達という点で課題になってこようかと思っておりますので、先ほど広報課との連携というのもありましたので、ぜひ、せっかくいい事業をやっているわけですから、より使ってもらえるように、よりチャンスが広く行き渡るように引き続き取り組んでいただきたいなというふうに思います。

以上です。